

第 67 回高崎市子ども会上毛かるた大会 審判監督会議資料

1. プログラム
2. コート審判員の手引き
3. 得点表の記入方法と提出までの手順
4. 得点表記入例
5. 親子の部のルール
6. 監督の手引き

第67回高崎市子ども会上毛かるた大会 プログラム

	小学生	中学生(個人) 親子の部	中学生(団体)	大人の部	予定時刻 時 分	所要時間 分
	準 備				9:40~9:50	10
午 前 の 部						
	選手配置				9:50~10:00	10
1	第1試合				10:00~10:30	30
	選手配置				10:30~10:40	10
2	第2試合				10:40~11:05	25
	選手配置・トイレ休憩				11:05~11:25	20
3	第3試合				11:25~11:50	25
	選手配置				11:50~12:00	10
4	第4試合				12:00~12:25	25
	選手配置・トイレ休憩				12:25~12:40	15
5	第5試合				12:40~13:05	25
	昼休み				13:05~13:45	40
	決勝トーナメント組合せ抽選・審判・役員準備				(13:20~13:40)	(20)
	選手配置				(13:40~13:45)	(5)
午 後 の 部						
6	決勝トーナメント1回戦	—	第6試合		13:45~14:10	25
	選手配置				14:10~14:20	10
7	準決勝戦		第7試合		14:20~14:45	25
	選手配置				14:45~14:55	10
8	決勝・三位決定戦		—	第8試合	14:55~15:20	25
	待機・片付け				15:20~15:50	30
9	閉会式				15:50~16:20	30
	解 散 (県大会出場者のみ、閉会式終了後説明があります)				16:20	

プログラムの時間は予定です。参加状況や試合進行状況により試合開始時刻が変更になる場合があります。
試合開始時刻の変更の場合は場内アナウンスをしますので、聞き逃しのないようにご注意ください。

令和8年1月18日(日) 高崎市子ども会育成団体連絡協議会

コート審判員の手引き

1. コート審判員の役割について

- (1) 担当する各コートで試合の判定をします。
- (2) 団体戦の場合、主審は取られた札の判定をし、副審が姿勢や態度の注意をしてください。
- (3) 副審は主審から求められた場合のみ、取られた札の判定をしてください。
- (4) 選手の姿勢・態度・おしゃべりには、厳重に注意と指導をしてください。
- (5) 左右の手を出して、札を取った側を示してください。
- (6) 大会前にルールを確認しておいてください。
「お手付き」「早取り」「払い取り」「かばい手」「役札」など。

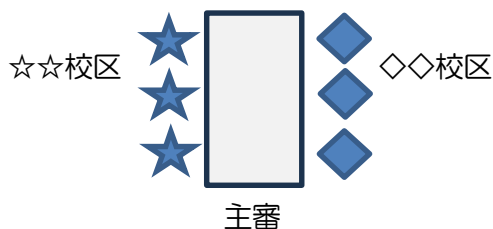
2. 試合が始まる前について

- (1) 試合前に札の枚数を確認し、札を表にして良く切ってください。
- (2) 得点表に、得点と選手のサイン以外の事項を記入してください。
※ これから行われる試合の得点表のみ記入し、2枚以上の得点表に記入しないでください
- (3) 対戦表の左側に書かれたチームを、主審から見て左側に着席させ、得点表の上に記入してください。

対戦表

☆☆校区 — ◇◇校区

選手の配置

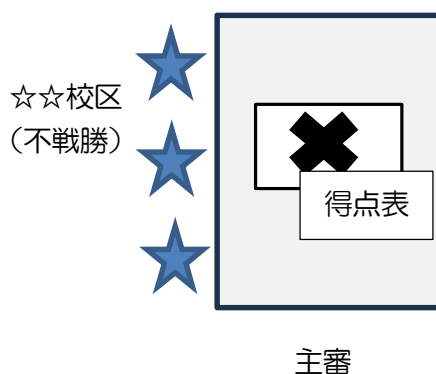


得点表

校区名
☆☆校区
◇◇校区

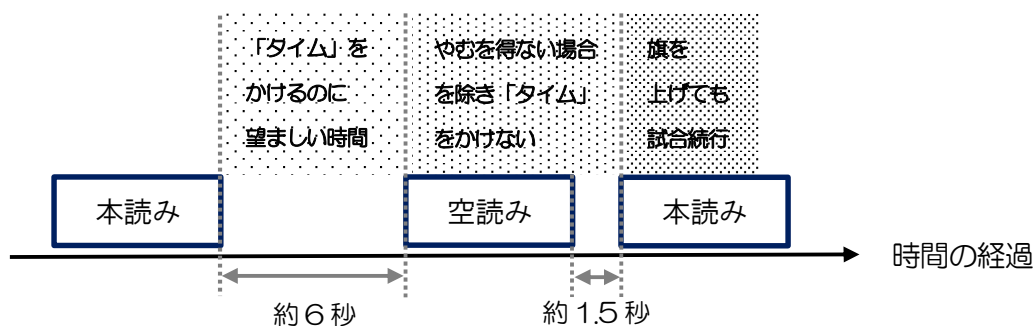
(4) 棄権試合の場合

- 棄権試合でも、得点表の記入と不戦勝となる選手のサインが必要です。
- 棄権試合の目印に、「×」印の用紙を収集係がコート中央に置きます。
「×」印の用紙の位置を変えたり裏返しにしないでください。
- 試合開始の「札」のあとに、記入した得点表を「×」印の用紙の上に置き、選手と静かに退出してください。



3. タイムについて

- (1) 「タイム」をかけるときは、黄色い旗を高く上げてください。進行係が「タイム」のコールをかけ、試合の進行が止まります。
 - ※ 旗は進行係や補助員から見えるように上げてください。進行係が旗を上げられたことを確認できないと、「タイム」をコールされず、試合が続行します。
- (2) 「タイム」をかけたときは、問題が解決するまで旗を上げたままにしてください。旗を下げると「ノータイム」とみなされます。
- (3) コート審判員は、読み手の「本読み」が終わり、「空読み」が始まるまでの間に「タイム」をかけるように心がけてください。
 - ※ 「空読み」が始まってから「タイム」をかけることはできますが、空読みが中断されると、読み手や選手のリズムが狂わされることとなります。やむを得ない場合を除き、「空読み」が始まるまでに「タイム」をかけるかどうか判断をしてください。
- (4) 「本読み」が始まってから旗が上がっても、試合は続行します。



- (5) 無駄な「タイム」をかけないように、乱れた札を直すための「タイム」は最小限にしてください。選手には素早く直すように指導や注意をし、低学年はコート審判員が手伝ってください。
- (6) 空読みが始まるまでに選手が札を取れなかった場合、「タイム」をかけて該当の札を審判預かりにしてください。
- (7) トイレのための「タイム」について
 - 試合中、選手はいつでもトイレに行くことができます。但し「タイム」はかけず、試合は続行します。
 - コート審判員は試合中にはトイレに行けません。
 - 2試合ごとに、トイレ休憩のため長めの休憩時間を取ります。

4. すべての札を取り終えてからについて

- (1) 選手に直ちに札の枚数を数えさせ、得点表に得点を記入してください。
- (2) 団体戦の場合、役が成立している場合の計算に注意してください。
- (3) 得点記入後に選手に結果を確認させ、選手（団体戦の場合代表者1名）にサインをさせてください。

5. 試合終了後について

- (1) 次の試合で審判を行わない場合、用具の確認が済んだら場外へ退出してください。
- (2) 試合毎に校区内で審判員の交代をしても構いません。

得点表の記入方法と提出までの手順

【団体戦の場合】

1. 審判員は、試合前に得点と選手のサイン以外の事項を記入しておく
対戦表の左側のチームを、得点表の上にする
2. 取った枚数を数えさせる ⇒ 合計して44枚になるか確かめ、取った枚数に記入する
3. 「つ」の確認をする ⇒ 得点表に「つ」がある方に○を付ける（同点でなくても○を付ける）
4. 役札がそろっているか確かめる
役札がない場合 ⇒ **取った枚数が総合得点となる**
役札がそろった場合（太字の枚数は中学生のみ）
 - ① 取った枚数から、そろった役札の枚数（3枚、5枚、8枚、**11枚**）を差し引く
 - ② ①にそろった役札の点数（10点、20点、30点、**40点**）を加算する
取った枚数 - 役札の枚数 + 役札の点数 ⇒ 総合得点となる
（総合得点は、44、51、59、66、73 のいずれかになる）

- | | | | |
|----------|--------------------|-----|----|
| 5. 役札の種類 | 親 札 「つ、ち、け」（中学生のみ） | 10点 | 3枚 |
| | 上毛三山 「す、も、の」 | 10点 | 3枚 |
| | 五 市 「お、か、め、き、け」 | 20点 | 5枚 |

6. 役札の組合せと差し引く枚数と点数

部門	約札の組合せ	枚数	点数	総合得点
全 て	「す、も、の」	3枚	10点	51点
	「お、か、め、き、け」	5枚	20点	59点
	「す、も、の」と「お、か、め、き、け」	8枚	30点	66点
中 学 生 の み	「つ、ち、け」	3枚	10点	51点
	「つ、ち、け」と「す、も、の」	6枚	20点	59点
	「つ、ち、け」と「お、か、め、き、け」	8枚	30点	66点
	「つ、ち、け」と「す、も、の」と「お、か、め、き、け」	11枚	40点	73点

7. 審判員（主審）が得点表を記入したら、選手が確認をしてサインをする
副審も間違いや記入漏れがないか確認する
8. 収集係に渡す

【個人戦の場合】 団体戦手順 の1・2・3・7・8を参照

【選手が棄権の場合】

- 1 試合前に審判員が『得点表』に記入したあと、不戦勝となる相手選手がサインをする
- 2 試合開始の「礼」のあとに、記入した『得点表』は置いたまま退出する

【得点表記入例】

団 体 戦																
第 5 試合					第 111 コート											
第 5・6年生 の部					(1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)											
審判名		(主審) 学校区		〇〇校区	氏名		群馬 花子									
		(副審) 学校区		△△校区	氏名		高崎 太郎									
対戦表の左側の校区を 上に記入する ☆☆校区 - ◇◇校区 校区名 審判が記入してくだ さい	取 つ た 枚 数	役 札			差 し 引 く 役 札 の 枚 数	「 こ 」 の 札 が あ る 方	審 判 預 か り	総 合 得 点	勝 敗 ○ ×	試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する						
	☆☆校区	19 枚	親札「つちけ」 ※中学生のみ あり (10点)	「五市札 おかめきけ」 あり (20点)							三山札「すも の」 あり (10点)	5 枚	あり	34 点	○	サイン
	◇◇校区	25 枚	あり (10点)	あり (20点)							あり (10点)	3 枚	あり	32 点	×	サイン
太線内は試合前に記入 (44) (44 51 59 66)																

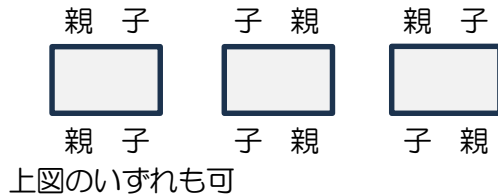
【相手が棄権の場合の記入例】

団 体 戦																
第 5 試合					第 111 コート											
第 5・6年生 の部					(1.2年生 3.4年生 5.6年生 中学生を記入)											
審判名		(主審) 学校区		〇〇校区	氏名		群馬 花子									
		(副審) 学校区		〇〇校区	氏名		高崎 太郎									
校区名 * 審判が記入してくだ さい	取 つ た 枚 数	役 札			差 し 引 く 役 札 の 枚 数	「 こ 」 の 札 が あ る 方	審 判 預 か り	総 合 得 点	勝 敗 ○ ×	試合後に 選手が名前を 記入する 得点と勝敗 を確認する						
	☆☆校区	枚	あり (10点)	あり (20点)							あり (10点)	枚	あり	点	○	サイン
	◇◇校区	枚	あり (10点)	あり (20点)							あり (10点)	枚	あり	点	×	キケン
太線内は試合前に記入 44 (44 51 59 66)																

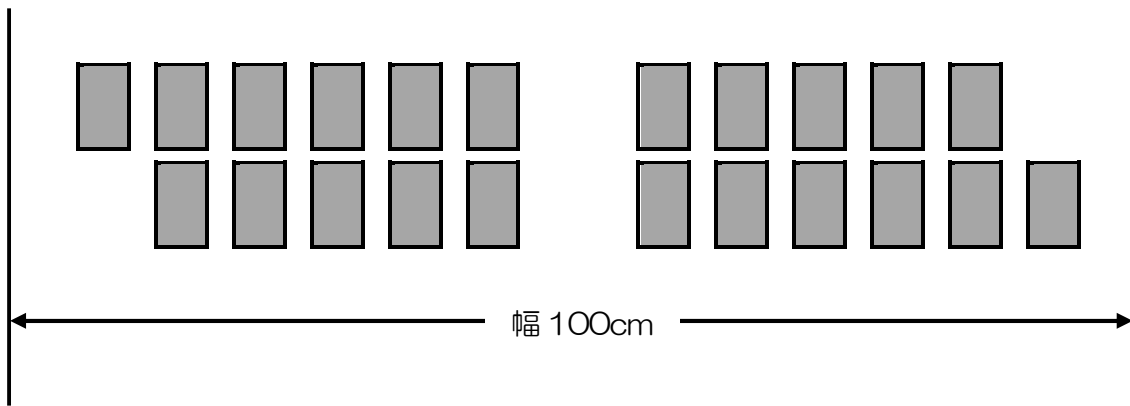
親子の部のルール

主なルールは、上毛かるた競技県大会規則を基本とする

- 子（小学1年生児童）1名と、その親（保護者）1名による団体戦とする
- 親1名と子1名が並んで座る
- 相対して座った選手が、親同士・子同士、親と子のいずれでも構わない



- コートは幅100cm×縦90cmとする
- 相対する両陣4名の選手が、それぞれ分担した「札群」（1名につき11枚）を「札群」ごとのまとまりとして、自陣に2段に配置する。
- 並べ終えた各「陣」の「札」の配列は、2人の競技者の横の計が各段11枚となること。
- 「役」は無し
- 同点の場合は、親札（つ、ち、けの順次）を持つ方の勝ちとする
- 最後の2枚札における競技は、子が代表となって競技する



監督の手引き

1. 選手のコートへの誘導について

- (1) コートにはコート番号が示してあるので、予め決められたコートに選手を誘導してください。
- (2) 相手が棄権し不戦勝となる場合でも、選手をコートに誘導してください。
選手には、得点表にサインをし、試合開始の「あいさつ」をしてから退出するよう伝えてください。
- (3) 試合のない選手はメインアリーナ内の選手待機場所で待機させ、試合中は選手を監督してください。

2. 試合中の選手交替について

- (1) 団体戦の試合中に選手に怪我や体調不良が発生した場合、その試合中に限り、選手の変更ができます。但し、試合中に再度の交替はできませんが、次の試合には出場することはできます（4人で選手登録をしている場合）
- (2) 選手待機場所で待機をしている選手と速やかに交代し、他のコートの試合の妨げにならないように注意してください。

3. リーグ戦の勝敗について

- (1) リーグ戦の全試合成立が、勝敗決定の条件となります。
- (2) 勝敗は、リーグ戦の成立結果（全試合の結果合計）で判定されます。リーグ戦途中の棄権は、全試合棄権扱いとなります。
- (3) リーグ戦で勝数が同じ時は、総合得点の多いチームの方を上位とします。総合得点も同数の時は、直接対決の勝者を上位とします。
- (4) 予選リーグの結果、小学生の部は8チームが決勝トーナメントに進出します。
予選リーグの組数が8組に満たない場合、予選リーグ各組の第1位のチームの他、各組の2位チームから以下の順に選出します（棄権試合は除きます）。この場合、決勝トーナメントの組合せは抽選で決定します。
 - ① 負け数の最も少ないチーム
 - ② 平均得点（総得点÷試合数）の最も高いチーム
 - ③ 平均失点（総失点÷試合数）の最も低いチーム
 - ④ 1試合の得点が最も高いチーム

4. その他

- (1) 個人戦・団体戦ともに、小学生の部は優勝・準優勝・三位・敢闘賞（四位）の4チームが表彰対象となります。
中学生の部は、優勝・準優勝・三位が表彰対象となり、敢闘賞はありません。
- (2) 決勝トーナメントに進出した小学生の部のチームには賞品があります。決勝トーナメント1回戦（第6試合）で敗退したチームの監督は、会議室Aに賞品を取りに来てください。
- (3) 2階南玄関から入場ください。他の出入り口は施錠されています。8時に自動開錠しますので、出入り口付近で待つことがないよう時間通りに来てください。地下駐車場からの出入り口も同様に、8時に自動開錠となります。
- (4) 開会式終了後に第1試合の準備を行います。準備中は選手を待機場所で待機させてください。コートの準備完了後、速やかに会場に入れるよう選手に指示してください。
- (5) 会場は暖房（エアコン）が完備されていますので、各自調整できる服装にしてください。
- (6) 選手には試合前にトイレを済ませるよう指示してください。
- (7) 試合中に選手はトイレに行くことができますが、試合は続行します。トイレを無理に我慢しないよう予め選手に伝えてください。また、トイレを理由とした選手交代は認められません。
- (8) 選手には前もって、次の試合が「第○試合、第○コート」であることを伝えておいてください。